

年間授業計画

上水 高等学校 令和5年度（1年次用）教科

外国語

科目 論理・表現 I

教科：外国語

科目：論理・表現 I

単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ F 組

使用教科書：（NEW FAVORITE English Logic and Expression I（東京書籍））

教科 外国語

の目標：

【知識及び技能】

外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 論理・表現 I

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
話すこと（やり取り・発表）及び聞くことの三つの領域別の目標を達成するのにふさわしいものについて理解するとともに、それらと言語活動を効果的に関連付け、実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けることができるよう指導する。	具体的な課題等を設定し、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、これらを論理的に適切な英語で表現できるよう指導する。	具体的な課題等を設定し、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、これらを論理的に適切な英語で表現しようとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		聞	読	話 〔や 〕	話 〔発 〕					
Lesson 1 初めての食事 【知識及び技能】 褒める、勧める、断るときの表現の形・意味・用法を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 場面や状況を理解し、適切な表現を用いて、相手を褒めたり、物事を勧めたりしている。また、勧誘内容を理解し、提案を断ったりして、自分の考えや気持ちなどを表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自身の活動を振り返りながら、適切な表現を用いて、相手を褒めたり、物事を勧めたりするために、繰り返し活動に取り組もうとしている。また、勧誘内容を理解し、提案を断ったりして、自分の考えや気持ちなどを表現しようとする。	【題材内容】 留学先での初めての食事の場面 【領域】(◎主/○従) ◎話すこと(やり取り) ○書くこと 【言語の働き】 褒める、勧める、断る 【文法】 未来表現、可算名詞・不可算名詞、受動態			○	○					3
Lesson 2 道に迷う 【知識及び技能】 提案する、依頼する、道順を説明するときの表現の形・意味・用法を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 相手の立場や状況を理解し、適切な表現を用いて、物事を提案したり、依頼したりしている。また、相手にわかりやすく道順を説明するなどして、自分の考えや気持ちなどを表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自身の活動を振り返りながら、適切な表現を用いて、物事を提案したり、依頼したり、相手にわかりやすく道順を説明するために、繰り返し活動に取り組もうとしている。また、自分の考えや気持ちなどを表現しようとしている。	【題材内容】 道に迷った・道を案内する場面 【領域】(◎主/○従) ◎話すこと(やり取り) ○書くこと 【言語の働き】 提案する、依頼する、道順を説明する 【文法】 Could you ...?や命令文など				○	○				4
Lesson 3 人物紹介 【知識及び技能】 身近な人を紹介する、聞き手や読み手の注意を引くときの表現の形・意味・用法を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 相手の知識や状況を理解し、適切な表現を用いて、1つのテーマに沿って、身近な人を紹介したり、テーマに関連性を持たせたりしている。また、聞き手や読み手の注意を引いたりして、自分の考えや気持ちなどを表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自身の活動を振り返りながら、適切な表現を用いて、1つのテーマに沿って、身近な人を紹介したり、テーマに関連性を持たせたりするために、繰り返し活動に取り組もうとしている。また、聞き手や読み手の注意を引いたりして、自分の考えや気持ちなどを表現しようとする。	【題材内容】 身近な人を紹介するスピーチ 【領域】(◎主/○従) ◎話すこと(発表) ○書くこと 【言語の働き】 身近な人を紹介する、注意を引く 【文法】 現在完了形と過去形、to不定詞と動名詞				○	○				3
Lesson 4 体調が悪い 【知識及び技能】 体調を伝える、体調を尋ねる、指示・アドバイスをするときの表現の形・意味・用法を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 場面や状況を理解し、適切な表現を用いて、現在の体調・具体的な症状などを伝えている。また、相手の立場や状況を理解し、具体的な返答がしやすい形で、体調を尋ねたり、指示・アドバイスを提示したりして、自分の考えや気持ちなどを表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自身の活動を振り返り、適切な表現を用いて、現在の体調・具体的な症状などを伝えるために、繰り返し活動に取り組もうとしている。また、相手の立場や状況を理解し、具体的な返答がしやすい形で、体調を尋ねたり、指示・アドバイスを提示したりして、自分の考えや気持ちなどを表現しようとする。	【題材内容】 体調をめぐるやり取りの場面 【領域】(◎主/○従) ◎話すこと(やり取り) ○書くこと 【言語の働き】 体調を伝える、体調を尋ねる、指示・アドバイスを伝える 【文法】 冠詞・人称代名詞、should, had better				○	○				3
定期考査							○	○		1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 【 や 】	話 【 発 】 書					
前期	Lesson 5 買い物 【知識及び技能】 描写する、相づちを打つときの表現の形・意味・用法を理解できる 【思考力、判断力、表現力等】 場面や状況を理解し、適切な表現を用いて、わかりやすく物事を描写している。また、文脈に応じて、適切な表現で相づちを打ったりして、自分の考えや気持ちなどを表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】 自身の活動を振り返りながら、適切な表現を用いて、わかりやすく物事を描写するために繰り返し活動に取り組もうとしている。また、文脈に応じて、適切な表現で相づちを打ったりして、自分の考えや気持ちなどを表現しようとする	【題材内容】 買い物の場面 【領域】(◎主/○従) ◎話すこと(やり取り) ○書くこと 【言語の働き】 描写する、相づちを打つ 【文法】 現在形と現在進行形、現在完了形と過去形				○	○				4
	Lesson 6 行ってみたい場所 【知識及び技能】 希望を述べる、理由を述べるときの表現の形・意味・用法を理解できる 【思考力、判断力、表現力等】 相手の立場や状況を理解し、適切な表現を用いて、具体的かつ一貫した繋がりを持たせ希望を述べている。また、相手が納得できるよう論理を一貫させて理由を述べてたりして、自分の考えや気持ちなどを表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】 自身の活動を振り返りながら、相手の立場や状況を理解し、適切な表現を用いて、具体的かつ一貫した繋がりを持たせ希望を述べるために繰り返し活動に取り組もうとしている。また、相手が納得できるよう論理を一貫させて理由を述べてたりして、自分の言葉で考えや気持ちなどを表現しようとする	【題材内容】 行ってみたい場所についてのライティング 【領域】(◎主/○従) ◎話すこと ○書くこと 【言語の働き】 希望を述べる、理由を述べる 【文法】 後置修飾、to 不定詞と動名詞				○	○				2
	Lesson 7 イベントに誘われる 【知識及び技能】 誘う、誘いを受ける、誘いを断るときの表現の形・意味・用法を理解できる 【思考力、判断力、表現力等】 場面や状況を理解し、適切な表現を用いて、計画などの魅力を伝えて誘ったり、計画などに対する期待感を伝えたりしている。また、誘いを受けたり、相手に配慮した形で理由を述べて誘いを断ったりして、自分の考えや気持ちなどを表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】 自身の活動を振り返りながら、適切な表現を用いて、適切な表現を用いて、計画などの魅力を伝えて誘ったり、計画などに対する期待感を伝えたりするために繰り返し活動に取り組もうとしている。また、誘いを受けたり、相手に配慮した形で理由を述べて誘いを断ったりして、自分の考えや気持ちなどを表現しようとする	【題材内容】 イベントに誘ったり、誘われたりする場面 【領域】(◎主/○従) ◎話すこと(やり取り) ○書くこと 【言語の働き】 誘う、誘いを受ける、誘いを断る 【文法】 未来表現				○	○				3
	Lesson 8 スクールカウンセラーに相談 【知識及び技能】 状況を説明する、手助けを申し出る、助言・提案をする、お礼や感謝を伝えるなどの表現の形・意味・用法を理解できる 【思考力、判断力、表現力等】 場面や状況を理解し、適切な表現を用いて、状況を整理して説明したり、手助けを申し出たりしている。また、助言・提案をしたり、お礼や感謝を伝えたりして、自分の考えや気持ちなどを表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】 自身の活動を振り返りながら、適切な表現を用いて、状況を整理して説明したり、手助けを申し出たり、助言・提案をしたりするために繰り返し活動に取り組もうとしている。また、お礼や感謝を伝えたりして、自分の考えや気持ちなどを表現しようとする	【題材内容】 スクールカウンセラーとやり取りをする場面 【領域】(◎主/○従) ◎話すこと(やり取り) ○書くこと 【言語の働き】 状況を説明する、手助けを申し出る、助言・提案をする、お礼や感謝を伝える 【文法】 howやwhyを用いた文				○	○				4
	Lesson 9 お気に入りを紹介 【知識及び技能】 映画や本のあらすじを要約する、登場人物などを紹介する、感想や批評を述べるときの表現の形・意味・用法を理解できる 【思考力、判断力、表現力等】 相手の知識や発言を理解し、適切な表現を用いて、あらすじなどを順序だてて要約して紹介したり、内容に関連する感想や批評を述べたりしている。また、聞き手や読み手にわかりやすく、自分の考えや気持ちなどを表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】 自身の活動を振り返りながら、適切な表現を用いて、あらすじなどを順序だてて要約して紹介したり、内容に関連する感想や批評を述べたりするために、繰り返し活動に取り組もうとしている。また、自分の考えや気持ちなどを、聞き手や読み手にわかりやすく表現しようとする	【題材内容】 自分のお気に入りを紹介するスピーチ 【領域】(◎主/○従) ◎話すこと(発表) ○書くこと 【言語の働き】 映画や本のあらすじを要約したり、登場人物などを紹介したりする、感想や批評を述べる 【文法】 前置修飾、後置修飾				○	○				3
定期考査								○	○		1

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
		聞	読	話 【 や 】						話 【 発 】
Lesson 10 待ち合わせに遅刻 【知識及び技能】 謝る、許す、励ますときの表現の形・意味・用法を理解できる 【思考力、判断力、表現力等】 相手の状況を理解し、適切な表現を用いて、具体的な内容や理由を添えて謝罪の気持ちを伝えている。また、相手を許す気持ちを伝えたり、相手を励ましたりして、自分の考えや気持ちなどを表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】 自身の活動を振り返りながら、適切な表現を用いて、具体的な内容や理由を添えて謝罪の気持ちを伝えるために繰り返し活動に取り組もうとしている。また、相手を許す気持ちを伝えたり、相手を励ましたりして、自分の考えや気持ちなどを表現しようとする	【題材内容】 待ち合わせに遅刻したときの場面 【領域】(◎主/○従) ◎話すこと(やり取り) ○書くこと 【言語の働き】 相手を謝る、相手を許す、相手を励ます 【文法】 使役動詞、to 不定詞と動名詞				○				4	
Lesson 11 家庭でのディスカッション 【知識及び技能】 共感を述べる、残念な気持ちを述べる、解決策を提案するときの表現の形・意味・用法を理解できる 【思考力、判断力、表現力等】 場面や状況を理解し、適切な表現を用いて、共感【賛成・反対】を述べたり、残念に思う気持ちを伝えたりしている。また、相手の抱える問題に対する解決策を提案したりして、自分の考えや気持ちなどを表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】 自身の活動を振り返りながら、適切な表現を用いて、共感【賛成・反対】を述べたり、残念に思う気持ちを伝えたりするために繰り返し活動に取り組もうとしている。また、相手の抱える問題に対する解決策を提案したりして、自分の考えや気持ちなどを表現しようとする	【題材内容】 家庭内で身近な社会問題についてのディスカッションする場面 【領域】(◎主/○従) ◎話すこと(やり取り) ○書くこと 【言語の働き】 共感を述べる、残念な気持ちを述べる、解決策を提案する 【文法】 仮定法					○	○	○	4	
Lesson 12 英字新聞に投稿 【知識及び技能】 要望や主張を述べる、理由を述べるときの表現の形・意味・用法を理解できる 【思考力、判断力、表現力等】 相手の意見や立場を理解し、適切な表現を用いて、要望や主張【自身の意見】を述べたり、要望や主張をサポートする理由を述べたりしている。また、自分の考えや気持ちなどを表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】 自身の活動を振り返りながら、適切な表現を用いて、要望や主張【自身の意見】を述べたり、要望や主張をサポートする理由を述べたりしている。また、自分の考えや気持ちなどを表現しようとする	【題材内容】 学校の英字新聞に投稿する記事のライティング 【領域】(◎主/○従) ◎話すこと ○書くこと 【言語の働き】 要望や主張を述べる、理由を述べる 【文法】 仮定法				○	○	○		4	
定期考査							○	○		1
Lesson 1 クラスでディベート① 【知識及び技能】 理由を述べる、例を挙げるときの表現の形・意味・用法を理解できる 【思考力、判断力、表現力等】 場面や状況を理解し、適切な表現を用いて、相手を説得するために自説を補強する理由を述べたり、自説に合った例を挙げたりしている。また、考えや気持ちなどを表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】 自身の活動を振り返りながら、適切な表現を用いて、相手を説得するために自説を補強する理由を述べたり、自説に合った例を挙げたりしている。また、自分の考えや気持ちなどを表現しようとする	【題材内容】 電子書籍と紙の書籍についてクラス全体でチョークディベートをする場面 【領域】(◎主/○従) ◎話すこと(やり取り) ○書くこと 【言語の働き】 理由を述べる、例を挙げる 【文法】 to 不定詞と動名詞					○	○		4	
Lesson 2 クラスでディベート② 【知識及び技能】 相手の意見に反駁する、相手の意見を引用するときの表現の形・意味・用法を理解できる 【思考力、判断力、表現力等】 相手の意見を理解し、適切な表現を用いて、反駁したり、相手の発言を引用したりしている。また、自分の考えや気持ちなどを表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】 自身の活動を振り返りながら、適切な表現を用いて、反駁したり、相手の発言を引用したりして、繰り返し活動に取り組もうとしている。また、自分の考えや気持ちなどを表現しようとする	【題材内容】 電子書籍と紙の書籍についてクラス全体でチョークディベートをする場面 【領域】(◎主/○従) ◎話すこと(やり取り) ○書くこと 【言語の働き】 相手の意見に反駁する、相手の意見を引用する 【文法】 否定語の使い方					○	○		4	
Lesson 3 経験談のスピーチ 【知識及び技能】 できごとを生き生きと描写する、経験からアドバイスをするときの表現の形・意味・用法を理解できる 【思考力、判断力、表現力等】 場面や状況を理解し、適切な表現を用いて、できごとを生き生きと描写したり、自分の経験に基づくアドバイスをしたりしている。また、自分の考えや気持ちなどを表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】 自身の活動を振り返りながら、場面や状況を理解し、適切な表現を用いて、できごとを生き生きと描写したり、自分の経験に基づくアドバイスをしたりするために、繰り返し活動に取り組もうとしている。また、自分の考えや気持ちなどを表現しようとする	【題材内容】 自らの子供のころの経験についてのスピーチ 【領域】(◎主/○従) ◎話すこと(発表) ○書くこと 【言語の働き】 できごとを生き生きと描写する、経験からアドバイスをする 【文法】 後置修飾、受動態						○	○	4	

